



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

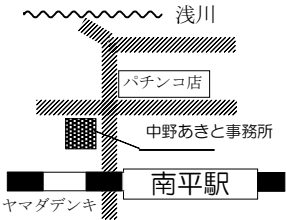
中野あきと事務所 第145号
〒191-0041 日野市南平6-25-1
南平ビル1階 2014年
TEL・FAX 042-599-3350 7月発行
発行責任者 小林 進

ホームページ
「中野あきと」

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円
日曜版1ヶ月 823円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



6月市議会

ごみ処理新炉の「基本設計」市民への説明とは別物に！

地元自治会・住民の反対を押し切って強引に予算化されたごみ処理新炉の基本設計が提案されました。私は、6月議会一般質問でこの基本設計について取り上げ徹底追及しました。

はじめに、この基本設計には、小金井市や国分寺市のごみ減量・資源化の取り組みや方針さえまともにも反映されておらず、「できるだけごみを減らして小さい炉に」という、地元住民をはじめとした切実な願いや声に向けて設計になっていないこと。そればかりか、設計契約の期限を大幅に越えた上に、設計書が納品される前に、代金を支払うなど地方自治法や会計事務規則をまったく無視した手続きを行っていることを明らかにし、日野市の姿勢を質しました。

さらにひどいことに、この基本設計は市が昨年来、説明会で市民に説明、アピールしてきたこととは、ことごとく食い違う中身に（表参照）なっています。新焼却炉建設に合わせて生ゴミやプラスチック類は分別・リサイクルを進めるとの説明や建設費の説明額とは大きく異なる設計になっている事実を示し追及しました。答弁に立った市長は、「バタバタの形で納品させるということで、いろいろと不備がございました」としながらも「ご理解をいただきながら、前へすすめていきたい」との立場に終始しました。

傍聴した市民の方々からは、

「市は、地元住民だけでなく、市民もだましている」「こんなデータラメな基本設計はおかしい」などの声があがりました。
「反対」という地元住民の総意にも、市民への説明にも反する基本設計は撤回し、ごみ広域化の是非について一から話し合いをやり直すのが当然です。

中野あきと

項目	市民への説明では	基本設計では
生ごみ	生ごみの堆肥化、メタン発酵等で、より一層の減量化を進めていきたい	実施せず （市民の協力度を理由に）
プラスチック	プラスチック類の分別は、新施設の稼働までには実施したい	実施せず （焼却を前提にした設計に！）
建設費	104億円	191億円 （トン単価では2倍以上に）
煙突の高さ	皆さんの意見で決める	59m とする

集会施設の予約

窓口受付の復活を！

日野市は、今年2月から、生活・保健センター、東部会館、勤労青年会館、市民会館（一部）、中央公民館、中央公民館高幡分室の申し込みを、インターネットによる予約システムに変更しました。いつでも申し込みができるようになった反面、パソコンなどを持たない方などが、申し込みがなくなるという事態が起きています。
2006年に作成された「日野市情報推進化計画」では、「パソコンやインターネットだけではなく、さまざまな利用手段を確保するよう心がける」と述べているように、インターネット、窓口、どちらでも予約ができるようにすべきです。

党市議団の6月議会での追及に対し、市は「これまでと同様の予約ができるという道を確認してございます」と答弁。市にはこの言葉通りの対応が迫られることにもなりました。
市民のみならずからは、「予約システムの変更で、定期的な集会施設の利用も難しくなっており、サークル活動にも支障がでている」との声も寄せられています。引き続き改善を求めていきます。

短信

通説と実際が相当違うものがある▼マクロの泳ぐスピードは、従来時速80kmと言われていたが、実際には平均で7km程度だという。測定はマクロにセンサーを取り付けてデータを収集する。従来は釣った時に出る糸のスピードで測定したというが、マクロも必死で逃げるので、多少平均よりスピードは上がるだろうが通説とは相当の差だ▼『生物と無生物のあいだ』福岡伸一著に出てくる野口英世は、1000円札の顔にまでなり、立志伝中の人物であるが、実像とはかけ離れているようだ▼野口を再評価したアメリカ人研究者は「彼の業績で今日意味のあるものはほとんどない。当時評価できなかったのは、大御所の存在による。彼が権威あるパトロンとして野口の背後に存在したことが、追試や批判を封じていたのだ」と結論している。狂犬病や黄熱病の病原体はウイルスで当時はまだ知られていず、見えないものを見たのだった▼集団的自衛権行使容認の安倍首相の記者会見は、まったくのたまたまだ。「憲法解釈の基本的考え方はなんら変わらない」と強弁するが、実態は9条の削除である。戦後最悪の安倍首相は即退陣すべきだ、というのが国民の声の実際だ。（H）

シルバーパス



購入料金の軽減 モノレールへの適用を！

日本共産党市議団の提案に市長も「沿線5市の市長と話をしてみたい」と答弁

日本共産党市議団は6月議会での一般質問で、シルバーパスの購入料金の軽減やモノレールへの適用を、日野市として都へ求めるべきだと提案を行いました。

これに対し市長は「沿線5市の市長との話から始めて、要望を上げていくような段取りができるかどうか、考えてみたいと思います。今後の市長の動きが期待されます。」

一方、議会の消極姿勢、中でも公明党のこの問題での敵対的な発言・態度が浮き彫りとなりました。

議会最終日に党市議団が同趣旨で行った意見書提出に対し、公明党が行った意見は次の通りでした。「シルバーパスは、利用者率は減少しているにも関わらず事業経費は増加の一途をたどっている。全国の道府県で実施しているのは東京都だけ、東京都には取り組みもなくはない課題が山積している、一方的に制度の改正を求めることには問題がある」。

自民党も意見書には反対しましたが、「理解できないものではありませんが、市長が『今後5市の市長会で検討していただくと考えます』との意見であり、この問題での公明党の異常な立場が際立つ結果となりました。」

北野街道の拡幅・整備状況について

この間、北野街道の拡幅整備状況に関する問い合わせや要望が寄せられています。現状や今後の見通しについてお知らせします。

- 「南平3丁目(4丁目)」(「高幡橋南詰」から「朝日新聞販売所」辺りまで)
現在用地買収中です。ただし、用地買収が済んだ部分では電線共同溝の地下工事などが行われています。(工事事務所では『南平Ⅰ期』と呼んでいます)
- 「南平3丁目-南平2丁目間」(「朝日新聞販売所」辺りから「青山」辺りまで)
用地説明会などが開催され、用地買収中です。(工事事務所では『南平Ⅱ期』と呼んでいます)
- 「新すいすいプラン 南平駅入口」
用地買収中で工事はまだ始まっていません。
- 「新すいすいプラン 平山城址公園駅入口」
現在、工事中です。

(注)「新すいすいプラン」とは、拡幅した道路に「右折専用レーン」を設置して右折車による交通渋滞をなくす、と言うものです。

工事の進行状況や工事にもなう要望などがありましたなら、中野あきと市議事務所までご連絡ください。



◆◆ミニ・ニュース◆◆

■区画整理懇談会開かれる

中野あきと市議を助言者とする区画整理懇談会が6月21日に東・西平山地域で、6月28日に豊田地域で開催されました。今年度の予算や計画について報告されました。また巨大物流センター問題や、3・3・2号線延伸問題について話し合いました。今の計画のまま進めないでほしい。住民の生活を十分考慮してほしいとの声が出されました。

「集团的自衛権行使容認」に反対する意見書 提出を求める請願 不採択にした自民・公明・民主の「ご都合主義」

6月18日の市議会本会議で、市民から出された「集团的自衛権の行使を容認すること」に反対の意見書を提出する請願について、日本共産党、生活者ネットと、無所属議員の一名が採決を求めた。

しかし、自民、公明、民主が不採択を主張したため、賛成少数でこの請願は否決された。

一内閣の手によって、これまで積み重ねてきた憲法の解釈を勝手に変更し、日本が攻撃を受

けていないのにアメリカなど他国の戦争に自衛隊が参加する「集团的自衛権の行使容認」は、多くの国民が反対し、日増しにその声は広がっている。

市議会の自民・公明・民主の与党は、「国の専権事項で国会で議論されているので意見書を出すべきではない」との理由で請願に反対したが、意見書は法的拘束力を持つものではない。国の専権事項に関わるものでも地方議会が意向を述べることは

認められていて、「集团的自衛権」に関しても全国で190を超す自治体から意見書が提出されている。市議会でもこれまで「尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書」など、国の専権事項に関わるいくつもの意見書が提案され、与党自身が賛同している経過もある。

なぜ、「集团的自衛権」についてだけ「国の専権事項」を振りかざし、市民の請願を門前払いにするのか。ご都合主義のそしりは免れないのではないだろうか。(K)



《2014年 8月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
8月 14日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。